



あすなるだより

2009年3月10日

発行 三重県立小児心療センター あすなる学園 広報担当
〒514 0818 三重県津市城山1 12 3 TEL.059 234 8700 FAX. 059 234 9361
MAIL: asunaro@pref.mie.jp URL:http://www.pref.mie.jp/ ASUNARO/HP/

暴言・暴力の観察と対応のポイント No.1

あすなる学園 暴言・暴力対応プロジェクト

近頃、子どもの暴言・暴力が拡大しており、児童青年精神科医療現場でも同様の傾向が見られています。あすなる学園では暴言・暴力に対応するためのプロジェクトを立ち上げ、その実態調査をし、理解と対応について検討いたしました。調査から、問題発生に関して大きく2つのグループ ※(1)「広汎性発達障害児」※(2)「多動・衝動性が顕著な児」のグループがあると考えられ、このグループを対象とした観察と対応のポイントについて基本的事項をまとめました。

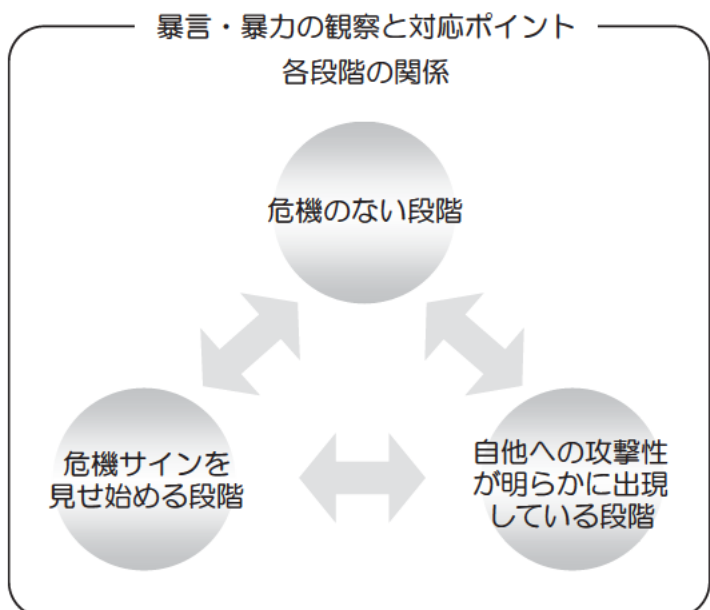
グループの特徴

- ※(1) 言語的表現の苦手さ、状況を理解することの苦手さ、社会性の障害、こだわり
- ※(2) 多動、注意集中困難、衝動統制の稚拙さ

■ 暴言・暴力の観察と対応ポイント各段階の関係 ■

子どもの状態として、①危機のない段階(安定期) ②危機サインを見せ始める段階(不安定期) ③自他への攻撃性が明らかに出現している段階(興奮期)といった3段階で構成されていると考えられます。ここでは各段階においての子どもの状態や観察点・対応の要点を示しました。

この3段階は常に相互的に移行を繰り返しています。つまり、①危機のない段階(安定期)から③自他への攻撃性が明らかに出現している段階(興奮期)へ移行する可能性にも留意する必要があり、現場では更に柔軟な対応が求められることとなります。



それぞれの段階においての子どもの状態を観察しておき、対応ポイントをおさえておく必要があります。今回は、①危機のない段階（安定期）について掲載いたします。

① 危機のない段階（安定期）

この段階では、自他に対する攻撃性が認められていない状態である。しかし、危機予防を行う上では子どもとの関係づくりはもとより、対象の子どもに関して多くの情報を収集する重要な段階である。

広汎性発達障害児

安定している状態での子どもの能力や個性、対人関係の持ち方、生活全般にわたってのこだわりの有無などを把握しておく。

多動・衝動性が顕著な児

安定している状態で、注意集中の持続や易刺激性の程度についての観察が必要となる。また周囲の些細な刺激に反応し、衝動的に問題行動に至ることも少なくない。

問題行動出現前後における子どもとその周囲の状況について注意深く観察し、誘発される背景を分析することで再発予防が可能になると考えられる。

1. 子どもの状態

広汎性発達障害児	多動・衝動性が顕著な児
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の順番やプログラムの変更でパニックを起こしていない。 ・ 予期しない場面や、習慣化されてない状況に直面した時動揺することなく対応できる。又は、不安、混乱、恐怖といった感情を何らかのサインで示すことができる。 ・ 時間、物の置き場所や状態、同じ質問を繰り返す、常同行動などのこだわりが増強していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安易な刺激に反応せず、集中して何かに取り組むことができている。 ・ 不安、不満、怒り、苛立ちといった感情を何らかのサインで示し、衝動的に反応しないできている（「～君が暴言をいってきた」「～君たちが仲間はずれにしてくる」と言語化できている）。

共通 自らの要求を受け入れてもらえるまでの時間、待つことができている。
 大人からの指示・促しに耳を傾け、行動できている。
 他の子どもと適切な距離を保って一緒に過ごすことができている

2. 普段の観察ポイント

広汎性発達障害児	多動・衝動性が顕著な児
<ul style="list-style-type: none"> ・ こだわり、奇妙な行動、その子なりのルール。 ・ 文字や言葉の理解度、子ども特有のサイン、オウム返しの有無や、コミュニケーションレベル。 ・ 音、光、温度、皮膚感覚などの感覚過敏の有無。表情、視線、言動の変化。 ・ 子どもや大人との関係、関わり方。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多動の有無、注意集中の対象やその持続時間。表情、視線、言動の変化。 ・ 対応する大人と子どもの反応の違い。 ・ 集団での遊びの様子。

3. 対応ポイント

広汎性発達障害児	多動・衝動性が顕著な児
<ul style="list-style-type: none"> ・より具体的でわかりやすい言葉、又は子どもにわかる形で話し、言動を一致させた言葉かけをする。 ・生活全般に渡ってこだわりがみられる傾向にあるため、声掛けをし、手順をわかりやすく示す。また、日課変更時には前もって知らせる（声掛けと、文字や写真などを添える）。 ・感情や言葉の表現が乏しいので、普段から「次何をするの?」「頭が痛い?」などの声かけを行い、本人の意思や感情を傾聴し、選択できる機会を多くする。 ・言葉でのコミュニケーションが苦手な子どもは、要求時に他者の手をつかんで持っていこうとするクレーン現象を用いることがあるので、要求が何かを判断し対処していく。 ・自由時間や一人での時間に何をしても良いのかわからず、こだわりの増強や他の子どもへの不適切な関わりを取ってしまうことがあるため、興味のあることをさせたり、新たに興味を持てる遊びの提供を行なうなど、余暇時間にも目を配る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由時間や一人での時間に何をしても良いのかわからず（暇をもてあますことの弊害）、危険な行動（高所に登る、物を投げる、振り回すなど）や他の子どもへの不適切な関わりを取ってしまうことがあるため、興味のあることをさせたり、新たに興味を持てる遊びの提供を行なうなど、一人での時間帯にも目を配る。 ・手伝いをお願いするなど、その子ができる事（できて当たり前なことでも）を依頼し、それができた時には評価の対象として自己評価を高めるきっかけにする（ちょっと待ってくれる?→少し待ってくれるだけでとても助かるよ! / スリッパ揃えるのを手伝ってくれる?→助かったわ。ありがとう!）。

共通 些細な事でも誉めることで自己評価を高めることにつなげる。また、結果ではなく、やろうとした気持ちに評価を与える。

〔環境設定〕

○ 空間の構造化

（共通）外部からの刺激を遮断するために、つい立・ロッカー・本棚などで仕切る工夫で、日課や活動に注意集中しやすい環境を作る。

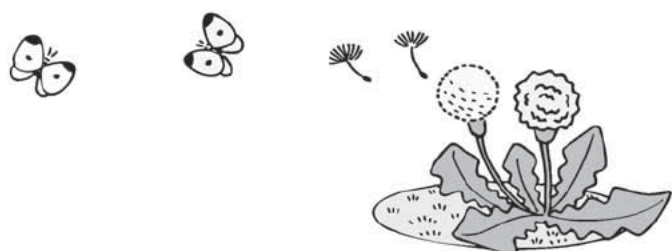
（広汎性）大きな音がしないようにする、快適な温度設定を行うなど、感覚過敏に留意する。

（多動・衝動性）注意が逸れ、危険な行為に繋がるような物品を排除した環境の設定を行う。

○ 視覚的構造化（共通）

・日課の流れを視覚的に提示し、見通しが持てるようにする（変更があれば事前に知らせる）。子どもによっては写真、絵カードやタイマーを使用し、スケジュールを理解させる。

・事前の約束事を決め、評価表を用いることで意識付けをしていく。その際には、子どもとの約束や評価を共有する。





知ってもらおうとたずかるよ ぼくをよろしくねメモ No.4

～康ちゃんのお母さんメモ～

あすなろ学園 園長 西田 寿美

「特別な皮膚感覚があるよ」

ボクは、背中・首・足のうら周りのフィット感に結構こだわるよ。
 下着のシャツがよれていたり、靴下がズれていたりするのは気持ち悪くて耐えられないよ。靴もね。今の靴は足のうらのところのベラを内側に少し曲げていけば大丈夫。ぼくなり調整して履いているんだ。だから履く時には、ちょっと時間が掛かってしまうよ。

首周りは襟が付いているものはニガテ。襟は内側に折り曲げるのがボクのやり方。こうすれば首を曲げてても襟が頬に触らないからね。

「それは、カッコ悪いよ」っておかあさんは言うけれど、これは譲れない。けどね、昔よりずいぶん楽になったと思うよ。

もう少し経てば、この感覚がなくなるかもしれないね。

まあ、気をながくあんまり期待しないでまわってしてくれるとありがたいな。でも、何か良い方法があったら教えてね。



「始めと終わりを確認したいよ」

店の営業時間や本のページの数、まず知っておきたいんだ。終わりが分からないのは、どうしても気持ち悪い。3年生の文集にはページ数がついていなかったの自分で書いてみたよ。全部で235ページだった。オススメは217ページ。ボクのページだよ。ぜひ見てね。見開きは、2ページ目と数えるんだよ。知ってたかい？



外来診療のご案内

(平成21年3月1日現在)

*診察は完全予約制です。

●予約電話番号

059-234-9700

曜日	月	火	水	木	金
1 診	中島	西田	大槻	河野	西田
2 診	吉岡	中西	石田	中西	大槻
3 診	河野	中島	中野	吉岡	中野
4 診	石橋				